キャラクター名
苧環幽

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン ノイマン	ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	18	性別	男
覚醒	死	衝動	自傷	初期侵食率	37 %
出自	複数の兄弟姉妹がいる	経験	脱走	邂逅	忘却

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	1	0	0			1
精神	4	1	0			5
社会	2	0	0			2

HP	27
行動値	7
(非装備時)	7
戦闘移動	12
全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	10	5	交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ:UGN幹部	
コネ:噂好きの友人	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
精鋭:RC	P 傾倒	N 不安		
日々出晴英	P 友情	N 敵愾心		
蠅斫十月	P 信頼	N 劣等感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4	残り財産P： 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
サイレンの魔女	5	5	メジャー	視界	シーン(選択)	RC	-	
効果： 攻撃力:+[Lv×3]の射撃攻撃。装甲値を無視してダメージを算出する。								
援護の風	5	2	オート	視界	単体	自動	-	
効果： その判定のダイスを+Lv個。１R１回。								
勝利の女神	5	4	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果： 判定の達成値+[Lv×3]。１R1回。								
エンジェルヴォイス	3	4	メジャー	視界	単体	交渉:自動	-	
効果： C値-1。判定のダイスを+Lv個。								
限界突破	1	3	セットアップ	至近	自身	自動	80↑	
効果 :そのラウンドの間、「1ラウンドに1回まで使用できる」エフェクトをひとつ、1ラウンドに2回まで使用できるようになる。1シナリオLv回。								
アドヴァイス	5	4	メジャー	視界	単体	交渉:自動	-	
効果： C値-1。判定のダイスを+Lv個。								
ライトスピード	1	5	マイナー	至近	自身	自動	100↑	
効果： メインプロセスでメジャーアクションを2回行える。判定のC値を+1。このエフェクトは1シナリオに1回まで使用できる。								
癒しの歌	3	2	メジャー	視界	単体	交渉:自動	-	
効果： 対象のHPを[(Lv)D+【精神】]点回復する。								
音波調律	1	2	ﾒｼﾞｬｰ	視界	-	交渉	-	
効果： 対象の受けている暴走以外のバッドステータスを全て回復する。								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

苧環幽:おだまきはる
コードネーム:瀬織津神使:herald

一人称:僕
二人称:～さん、～くん

好きなこと:特になし
嫌いなこと:甘やかされること。苦手。

UGNの幹部である父と母の元に産まれた。
死産のはずがオーヴァードとしての力を持って産まれたため生後間もなくしてその力をUGNの為に伸ばしていくことになる事が決められた。
普通の生活などない。兄や姉のように自分も「有用な駒」として強くならなければいけないと言い含められてきた。
厳格な父親はUGNの中でも信頼されており、自分自身も尊敬の念を抱いていたが子供心では遊びに行きたいとも思っていた。
反発心がなかったわけでは無い。故に一度逃げ出した。天才の頭脳を以てすればそれを行うことも出来ただろう。
管理下に置かれるべきUGNチルドレンの脱走。
その際に監禁され、手酷い暴力を受けた。力の差を知らしめる上での暴力の痛みが歪み、それを生きている実感と誤認した。
恐怖を感じる以上にまだ”生きている"と知らしめる感覚がいつの間にか"殺してほしい"に変わり、
オーヴァードという化け物である自認を唯一正しく打ち付けてきた。
死は自分がまだ生きていると実感するための行為である。

「施設」の中で出来損ないたちは処分されていった。であれば生き残っている自分は「優秀」なのだという自負がある。
施設を出る頃には自分だけでも戦えるという自信すらあった。